

**認定こども園概要（令和5年10月1日現在）**

認定こども園名称		ますえの森どうわこども園								
所在地・問合せ先		〒983-0837 仙台市宮城野区柞江8-10 TEL：022-295-0750 FAX：022-385-6515								
利用定員		75名（令和5年10月1日現在の在園児数 72名） うち1号認定・・・ 15名（令和5年10月1日現在の在園児数 14名） うち2・3号認定・・・ 60名（令和5年10月1日現在の在園児数 58名）								
受入可能年齢／月齢		生後2か月より受け入れ								
令和6年度 園児募集定員 (1号認定)		満3歳児 の入園		入園の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 否				
				入園可能時期		満3歳の誕生日を迎えた月の翌月から				
		3年保育（年少）		2年保育（年中）		1年保育（年長）				
		0名		0名		1名				
		2・3号認定児童の受入については仙台市で決定を行うため、申込みは区役所へ。								
制服		なし								
給食 (1号認定)		実施の有無		<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし						
		実施日		週 5 日（月曜日～金曜日）						
		調理場所		<input checked="" type="checkbox"/> 園内 <input type="checkbox"/> 園外						
給食（2・3号認定）		2・3号認定児童の場合は、毎日給食があります。								
通園バス		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし		主なバス運行 範囲：						
登園日 教育・保育時間		1号認定		月～金 8時45分～13時15分						
		2・3号認定 (標準時間)		月～土 7時00分～18時00分						
		2・3号認定 (短時間)		月～土 8時15分～16時15分						
休業日	長期休業日 (1号認定)		春休み（令和5年度）		3月 23日～			3月 30日		
			夏休み（令和5年度）		8月 5日～			8月 19日		
			冬休み（令和5年度）		12月 23日～			1月 6日		
その他休業日		土曜日／日曜日／祝祭日／年末年始休暇（12月29日～1月3日）／土曜日行事（遠足・就学児キャンプ・夏祭り・運動会・発表会・卒園式）参加の振替日（行事翌週の最初の平日）								
未就園児教室・クラス		実施の有無		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						
		未就園児 教室名								
		主な活動内容								
		対象年齢		活動回数		活動時間		定員		
		歳児		月	回	曜日	:	～	:	名
		歳児		月	回	曜日	:	～	:	名
		歳児		月	回	曜日	:	～	:	名
		その他								
料金										
利用方法										

障害児保育		受け入れの可否		<input type="checkbox"/> 可	<input checked="" type="checkbox"/> 否	<input type="checkbox"/> 応相談
		方針				
保育料等費用	無償化対象(※1)	保育料(月額)	全額無償となります。			
	無償化対象外(※2)	入園時費用	入園料	0円		
				円		
		その他月額費用	主食費(3歳児以降)	1,200円		
			副食費(3歳児以降)	5,000円		
			リース布団費用(利用時)	1,300円		
			おむつ処理費用(利用時)	400円		
			父母の会費	300円		
		円				
	その他費用	延長保育夕食費用(午後8時までの延長保育を利用で、かつ夕食利用の申請をした場合の夕食費用)	日額 200円			
遠足費用(バス代:1,000円、保険料:50円、入園料:施設入園料に従う)		園児には左記費用は掛かりません。園児以外の参加者については左記費用が掛かります。また、年度により左記費用からの変更がある場合もあります。				
カラー帽子費用		1,080円				
	体操着	120cmまで 2,200円(シャツ) 120cmまで 1,800円(パンツ)				
預かり保育(1号認定)	早朝預かり	実施日・時間・1日の預かり人数上限	7時00分～8時45分(人数上限なし)			
		料金(※3)	1時間 100円(1日当たりの預かり保育料:最大450円まで)			
	通常日預かり	実施日・時間・1日の預かり人数上限	13時15分～18時15分(人数上限なし)			
		料金(※3)	1時間 100円(1日当たりの預かり保育料:最大450円まで)			
	休業日預かり	実施日・時間・1日の預かり人数上限	土曜日 7時00分～18時00分(人数上限なし)			
		料金(※3)	1時間 100円(1日当たりの預かり保育料:最大450円まで)			
	実施しない日		日曜日・祝祭日・年末年始(12月29日～1月3日)			
	新入園児の入園式前(4月1日から)の利用		<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/> 応相談			
卒園児の卒園式後(3月末まで)の利用		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/> 応相談				
延長保育(2・3号認定)		実施日・時間・料金受入可能年齢/月齢	月～金 18時00分～19時00分(月額3,000円) 月～金 18時00分～19時30分(月額5,000円)※日割あり 月～金 18時00分～20時00分(月額8,000円)※日割あり ※日割:300円(19時00分以降、30分毎に加算) ※受入可能年齢/月齢 満1歳以降			
◆◆幼児教育の無償化について◆◆ ※1 保育料については、1号認定児は満3歳児クラスから、2・3号認定児は3歳児クラスから全額無償となります。 ※2 実費として徴収される費用(通園送迎費、食材料費、行事費など)は無償化の対象になりません。ただし、年収360万円未満相当の世帯の子どもと第3子以降の子どもは、3歳児クラスから副食(おかず、おやつ等)費用の減免制度があります。 ※3 1号認定児の預かり保育の利用料は、3～5歳児クラスで施設等利用給付認定(新2号)を受けた子ども及び満3歳児で施設等利用給付認定(新3号)を受けた市町村民税非課税世帯等の子どもを対象に、利用日数に応じて日額450円(3～5歳児クラスは月額上限11,300円、満3歳児は月額上限16,300円)まで無償となります。なお、2・3号認定児の延長保育料は無償化の対象外です。 ⇒ 幼児教育の無償化に関する詳細は、仙台市HP「幼児教育・保育の無償化について」をご覧ください。 <a href="https://www.city.sendai.jp/nintechosa/mushouka_gaiyou.html">https://www.city.sendai.jp/nintechosa/mushouka_gaiyou.html</a>						

防犯対策	防犯警報ベル	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし				
	セコム株式会社の防犯ブザーを各園舎に設置し、不審者を発見した際に、防犯ブザーのスイッチを引くことにより、セコム社へ通知し警備員が駆け付けて対応します。					
卒園児の通う 主な小学校	仙台市立柞江小学校、仙台市立幸町小学校、仙台市立幸町南小学校 仙台市立小松島小学校					
職員の状況	施設長	1名	保育教諭	18名	保健師・看護師	1名
	栄養士	1名	調理員・用務員	7名	事務員	2名
	バス運転手	0名	清掃員	0名	合計	30名
特別保育事業等の実施状況						
乳児保育事業	実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし				
	乳児受入月齢	生後2か月より受け入れ				
	乳児保育に関する特記事項					
園庭遊具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スベリ台</li> <li>・ままごと用シンク</li> <li>・鉄棒</li> </ul>					
その他 (特色など)	<p>「自然の中でのびのびと」を園のモットーとし、畑や森での活動・遊びを通して意欲的に生活する子どもを育ててきました。また、食育については田植えや稲刈り、畑での野菜の栽培・収穫といった体験活動を積極的に行い、これらの活動を通して食物の大切さを感じさせるとともに、収穫物を自分で調理する事で食物の好き嫌いを無くすといった活動も行っています。さらに、季節の行事や国内外の伝統行事にも取り組み、児童の豊かな心を育むとともに、積極的に地域との交流をはかり地域活性化に貢献しています。</p>					